

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

【令和4年度評価】

法人名：社会福祉法人 いわきの里

事業所名(事業所番号)：小規模多機能型つどい 0790400600

所在地：いわき市好間町北好間字外川原 33-1

代表者：山内 真理子

管理者：片岡 賢

運営推進会議を活用した事業所の評価日：令和5年3月9日

出席者：家族代表 第三者委員 包括支援センター 片岡 賢

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内掲示板に理念を掲示しミーティング等で共有している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委託事業として認知症カフェを定期的に開催し地域の方に参加して頂いている。	活動内容について説明、画像等で確認して頂いている。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事故発生報告、行事等の内容を確認、評価して頂き改善点があれば取り入れ実施している。	事故報告では原因、要因、解決策までの経緯を分かりやすい言葉を使い説明している。行事に参加して頂いた利用者の声を聞き取り、記載している。		
4	市町村との連携	市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	包括支援センターなどを通してケア内容を報告し評価を頂き連携を図っている。	地域での高齢者の過ごし方や他の施設状況等の情報交換をしている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人、事業所共に定期的に身体拘束について会議を開催し事例等を通して具体的な内容を確認している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○第三者委員：利用者の表情が豊かになってきている。職員の日々の対応が良いと思う。 △包括支援センター

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人、事業所共に定期的に虐待について会議を開催し事例等を通して具体的な内容を確認している。		A. 充分にできている B. ほぼできている △ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○第三者委員:利用者本人による事故と思われるものでも、丁寧に処置、家族に連絡し説明し謝罪していると同時に対策もしっかり行っている。 △包括支援センター
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	支援事業、制度については制度がある事は知っているが具体的な内容までは周知されていない。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必ず書面にて内容を説明し同意を頂くようにしている。また、随時疑問に答えるように家族と連携している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に広報誌などを通して情報を発信している。また、行事に参加された写真等を家族に送信している。		A. 充分にできている △ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○第三者委員:運営推進会議等でその時の行事や参加状況の様子などを配信している。 △包括支援センター
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	業務見直し、接遇について定期的にミーティングや課題、提案ノートに記載して貰い情報交換をしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	役割分担等各自の技量に合わせて対応している。資格取得等についてアドバイスをしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている △ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○第三者委員:就業環境の内容等がよくわからないが、職員の様子から職場環境や各件の整理は行われていると推察する。 △包括支援センター
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部、内部研修など出来る限りの参加としている。就労しながら資格取得出来るように支援をしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている △ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○第三者委員:就業環境の内容等がよくわからないが、職員の様子から職場環境や各件の整理は行われていると推察する。 △包括支援センター

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の定例会への参加や同業者へ訪問、情報交換をしている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅での様子等について家族等から情報を頂き地域の情報収集などを行っている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族の希望があれば通院や買い物先等を通い慣れた場所まで送迎し日々の様子について情報交換をしている。	施設だけの対応では出来ない事も多いので家族から情報を頂くようにしている。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設として出来る限り意向を確認し実現できるように支援をしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の協力を頂きながら本人の望む生活が出来る様に支援を続けている。	行事や日々の様子について面会などの時に伝え、遠方の家族、面会に来て頂けない家族に対して写真等を送付して確認して頂いている。	④ 十分にできている△ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○第三者委員：利用者の家族と連絡を密にして、利用者満足感安心感を持たせている。 △包括支援センター
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の状態変化等については連絡帳や介護記録に記載しミーティング時に情報交換し見直しを図っている。		④ 十分にできている △ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○第三者委員：個々の利用者に職員が温かな気持ちで接していると思われる。 △包括支援センター
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状況に合わせて泊り、訪問、通いを必要な時に変更し出来る限りの支援を継続している。送迎後に食事の提供等を行う事が出来ている。	家族との情報交換や職員間でも状況の変化に対応出来るように情報交換をしている。		

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で過ごしている方で必要があれば福祉用具等を活用し容易に過ごせるように支援している。	過ごし方について要望を聞き必要なサービスを導入しその方が望む生活が出来るように支援している。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望を聞き取り定期通院や病院内の付き添いを行っている。必要があれば服薬管理も行っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療機関と日頃より情報交換しており入退院においても早期に対応、相談出来る関係にある。		A. 充分にできている△ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○第三者委員：医療機関と密に情報交換をしている様子です。 △包括支援センター
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に看取り介護が出来る施設である事を伝え、医療機関と連携し対応が出来ている。		A. 充分にできている△ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○第三者委員：NO.22と同じ様に努力している事が伝わっている事が伝わってきます。 △包括支援センター
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時の対応は看護師より主治医と連携し対応している。訓練や実践は少ない状況にある。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に消防署と連携し訓練を実施し点検も受けている。しかし、地域の方の参加は出来ない。	訓練等の様子を画像で確認出来ている。地域の方の協力をお願い出来ると良い。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○第三者委員：訓練なども実施している。 △包括支援センター
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	言葉がけに対して入職時や定期的に研修等を重ねている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○第三者委員：職員一人一人が丁寧に明るく対応している。 △包括支援センター

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	要望、希望を聞き施設として出来る個別な対応が出来るように支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	嗜好品の確認をさせて頂き家族に持参して頂き提供、片付けなど出来る事を一緒に行うようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○第三者委員：個々の身体(健康)状況を正確に把握し、それに従っての食事が提供されている。 △包括支援センター：栄養管理が必要とされている利用者においても食事の楽しみを失われないように配慮された献立メニューとなっている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	摂取、飲水量について記録し飲み込みが出来ない方に対してトロミを付けたりして対応している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要な用具を用意して頂き、声掛け、一部分助で対応している。		A. 充分にできている B. ほぼできている△ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○第三者委員：人としての生活を大事にし個に応じた対応が出来る。 △包括支援センター
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄状況を知る為にチェック表を活用し看護師と連携し排便コントロールをしている。出来る限りトイレで排泄出来るように取り組んでいる。		A. 充分にできている B. ほぼできている△ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○第三者委員：出来る限り、一人ひとりが気持ち良い生活が出来る様に努力している。 △包括支援センター
32	入浴を楽しむことのできる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る限り本人の意向に沿えるように回数は個別に対応している。時間は施設の都合で対応している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	部屋での過ごし方についても自宅で使用して居たものを持ち込んで頂いている。室温等についても巡視時適温を確認している。			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の協力も頂き処方内容が分かる物を持参して頂き看護師が内容を確認し介護職と情報交換をしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○第三者委員:的確になされている。 △包括支援センター
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の協力を頂きながらご本人の過ごし方について出来る限り対応できるように取り組んでいる	季節感を感じて頂ける行事食等の提供や行事を行っている。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の協力を頂きながら一緒に外出行事を実施した事はある。季節感を感じられるように外出先を検討対応している。	通いなれた歯科等本人が希望された場合は出来る限りの対応をしている。また、行事等の行先については運営推進会議で意見を募るようにしている。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己管理が出来る方については所持して頂き外出した際に使用できるように支援している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	携帯電話で話せる方は持参して頂き、施設の電話にて家族と意見交換をされている方もいる。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内は室温を一定に保てるようにしている。又、換気についても定期に実施している。身体機能等に合わせ使用できるトイレとなっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○第三者委員:とにかく、清潔感あふれる場所がある。 △包括支援センター:感染症予防対策も徹底されており居心地のよい空間が提供されている。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意向が確認できる方、意向を聞き取れない方には家族から確認し出来る限りの支援を行っている。			
----	----------	--------------------------------------	--	--	--	--	--

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用前より生活歴等の情報を職員間で共有しているが、本人の望む生活に十分に生かす事が出来ていない。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用中のバイタル測定、服薬管理、必要があれば訪問診療の導入、自宅内では福祉用具貸与等を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている△ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○第三者委員：服薬管理等、確実になされている。 △包括支援センター
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新聞やテレビ等を視聴できるように支援しているが、喫煙や飲酒について安全面が確保出来ない為遠慮して頂いている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内に持ち込める備品については検討し身近に置いて頂き安心して過ごして頂ける努力をしています。		A. 充分にできている B. ほぼできている△ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○第三者委員：確認していませんので、わかりません。 △包括支援センター
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症対策にて外出できる所を制限している。	地域のイベントに参加した実績がある。今後状況が改善された際には、また参加出来るように調整する。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体操、レクリエーション等で体を動かす事が出来る範囲で参加して頂き、音楽等を聴いて頂き刺激を受けて頂けるようにしている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が関わる際に会話を引き出せる声掛けを心掛けている。		A. 充分にできている B. ほぼできている△ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○第三者委員：コロナ禍前は本人も代表出席していたので明るい様子から声掛けや会話が出来ていると思った。 △包括支援センター：日中活動や行事を通してコミュニケーションの機会を増やしている。ご本人の強みを引き出す支援が実践されている。

48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	住み慣れた自宅で1人暮らしをされている方も家族、職員の支援を受けながら生活する事が出来ている。	近所の方との関わり方については、本人、家族より情報を発信して頂き施設として協力できる事は行っている。	/	
49	総合	本人は、この施設に在ること、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者、家族が望む生活が出来るように施設として関わりを続け自分で出来る事が続けていける支援をしている。	自宅での生活が難しくなっても入所施設と協力しながら途切れる事なく生活出来るように支援している。	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている△ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○第三者委員、職員、管理者の姿勢から支援していると思われる。 △包括支援センター